

平成30(2018)年度 第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 平成30(2018)年6月21日(木) 16:30～18:30
- 2 場 所 日光明峰高等学校 メディアⅠ教室
- 3 出席者 委員11名(3名欠席)
その他栃木県教育委員会事務局から6名、本校事務局職員8名、他校教員1名
- 4 司 会 本校教頭

5 次 第

- (1)開会
(2)校長あいさつ
(3)栃木県教育委員会あいさつ 学校教育課課長補佐 長 裕之
(4)委員紹介
(5)学校運営協議会制度の説明 生涯学習課課長補佐 井上昌幸
(6)会長および副会長選任
委員の互選による。 会長 石井大一朗 副会長 鈴木和仁
(6)協議 (下記6の通り)
(7)閉会

6 協 議

○会則の制定について

〔会長〕

関係法規概要の委任、協議会の運営について必要な事項は、協議会が定めると記載されている。まず、会則を定めたい。会則案を作成していただいているので、説明をお願いします。

〔事務局〕

1条の趣旨から11条までとなっている。承認いただければ平成30年6月21日施行でお願いしたい。

〔会長〕

本会則(案)は専門部会の設置や生徒の意見を反映するなどの特徴ある協議会になっている。この会則案に承認いただければお願いしたい。 →承認

○学校運営に関する基本的な方針の承認について

〔校長〕

学校運営に関する基本的な方針について、日光明峰高校魅力化プロジェクトチームから説明してもらう。

〔本校職員〕

日光明峰高校の現状と課題について説明する。

- ①入学者数は5年間、減少傾向にあるが、特に日光市内の生徒の減少が目立つこと、さらに平成30年度は女子生徒の入学が少なかった。
- ②全生徒の80%近くが、バスを利用している。
- ③進路は年度によってばらつきはあるが、進学、就職、同じくらいの割合。多くの生徒は希望する進路を実現している。
- ④生活面では落ち着いた生徒が増えており、問題行動などは減少している。

- ⑤アイスホッケー部、スピードスケート部が全国募集をしており、高成績を収めている。
- ⑥課題としては、通学にかかる費用（特にバス代金）、本校の評判の低さ、学力面の伸び悩み、統廃合になるという噂などが挙げられる。中学生、保護者、中学校教員への直接的な広報活動が必要。

〔校長〕

教育方針について。本校のスローガンである「さわやかで勢いのある学校、地域に愛され信頼される学校」を掲げた。学校教育目標は平成30年度から改め、3つの生徒指標に基づき、6つの学校教育目標を定めた。

〔会長〕

受検者数が直近2年間激減していることに対する分析、また学校教育目標を変更した点を教えていただきたい。

〔校長〕

地元の方々が日光明峰高校が存続するのか不安を抱いていることが挙げられる。それを払拭するための広報活動をしている。学校教育目標を6項目にした。「重点目標」のキーワードを「居場所・役割・自己実現」とし、「努力点」において「安全防災の充実」、「地域連携活動の充実」という観点を追記した。

〔会長〕

本日は大項目や方向性について承認いただき、次回細かい点についてご意見いただきたい。

〔委員〕

実際に話しあったことを、どのように実行に移していくのか。夏休みには説明会を開くことになるが、この経営方針が決まらなければ動けない。

〔会長〕

ここでの議論、提案が、どう生かされるか不安視される。2回目以降に中長期的な目標を見据えながら、生徒確保や魅力化について議論していくという理解で進めていきたい。新年度が始まっており、学校運営方針については本日承認をいただかなければならない。大項目については承認いただけるか。 →承認

○学校の魅力化、特色化について

〔会長〕

各委員から一言ずつ「学校の魅力化、特色化」についてご意見をいただきたい。

〔委員〕

普通科にこだわらず、特化した観光科や芸術科などの創設はできないだろうか。

〔委員〕

アイスホッケー部の部員確保に努めていく。連盟としても高校進学で県外流出してしまっている部分を防ぐ努力が必要だと感じている。

〔委員〕

スケート連盟として選手強化を進めているが、地元の競技者が増えてこないのが現状である。また、魅力化チームが掲げていた点については早急に対応していく必要がある。

〔委員〕

地域連携活動は平成28年から行っている。地域と連携しながら取り組めることを模索していくことが必要だ。

〔委員〕

日光中学校も含め、日光市は部活動の関係により中学校への指定校変更が可能になり、本校も生徒が減っている。全校32名中、3分の1が学区外からの生徒だ。日光中、日光東中も、県外の高校に進む生徒が増えている。

〔委員〕

日光明峰高校へ進学するときの障壁は、生徒指導上の問題と学力関係、その後の進路にある。ウィンタースポーツは人数が少ないので県外流出を防がなければならない。以上の点は、魅力化チームの説明によると払拭されているということなので、保護者等に対するイメージ回復の手立てが必要だ。また、通学費を問題視している保護者もいる。通学方法についても考えなければならない。

〔委員〕

交通費に関して、市では認識しているし、日光明峰高校からも要望は出されている。市としてどのような取り組みができるのか確認したい。

〔会長〕

課題について、「優先順位」、「来年度の入学生に向けてのイメージ戦略」、「中長期的な取り組み」を3本の軸として取り組んでいく必要がある。

○次回の日時の確認

〔教頭〕

平成30年7月26日（木）の14：00からを予定したい。 →了承